平成 27 年度 鳥取県PTA研究大会

「みんな輝け☆つながれ未来!」

～心のふるさと育てよう～

11月28日、鳥取市国府町中央公民館において「みんな輝け☆つながれ未来!」～心のふるさと育てよう～の大会スローガンのもと平成27年度鳥取県ＰＴＡ研究大会が開催されました。

司会　横山副会長

今大会のねらいは、ふるさと鳥取を誇りに思い、地域に根を張り、地域の一員として生活することのできる人、どこに住んでいようと地域に目を向け、"つながる"ことから問題解決に向けて取り組んでいくことのできる人格の育成、並びに家庭と学校・地域がつながって、遊び・学び・体験を通じて最後まであきらめないやり遂げる力を育てる（自己肯定感を育む）ための保護者の役割を再認識するとともに、ＰＴＡとして出来ることや、しなければならないことをともに考え、単位ＰＴＡの取り組みにつなげ、子どもの健全育成を目指すというものです。

開会に先立ち山代会長の挨拶の中で、本年度県ＰＴＡの取り組みでのひとつであるメディア21:00運動の紹介より始まり、その後、来賓として鳥取県教育委員会の山本仁志教育長が挨拶され、その中で県内の二つのＰＴＡが文部科学省より地域の連携や仲間作りで賞を受けたことを報告されました。また、貧困家庭対策や孤立しない子どもや家庭がないようつながっていくということに行政としても支援していきたいと述べられました。

山代会長挨拶

基調講演では鳥取大学地域学部地域教育学科の土井康作教授が「ふるさとの体験と育ち」と題し、ものづくりや自分の体験を通じて講演されました。土井氏は今自分が抱く問題意識として、今の教育は知識偏重か自由偏重の両極端であり、すぐ結果を求めたり結果のみを求める反射的な教育で、子ども達が深く物事を考えることを求めていないと指摘されました。今こそそこからの脱却が必要で、「なぜ?」「どうして?」を問い続ける教育があっても良いのではないかと述べられました。考える時間を与える教育は、物事の根本を問い続けることであり、持続力や本質を求める力を養うとも述べられました。土井氏が現在取り組んでいるものづくりを通じての教育も、子ども達が好奇心や想像することの面白さを体験することで子ども達自身に探求心が芽生え、その結果学んだことを自ら他者にも教えるようになり、人と人とのつながりが生まれると述べられました。

土井教授

講演後は、山代会長をコーディネーターに、5名のパネリストを交え「ふるさと教育」をテーマにパネルディスカッションが行われました。パネリストの福壽みどり氏（平成28年度開校予定の福部未来学園ＰＴＡ）からは幼小中10年間の一貫校としての縦のつながりについての報告があり、前田良二氏（琴浦町立船上小学校ＰＴＡ前会長）からは統合した学校での地域とのつながりの取組について、岩田リカ氏（南部町立南部中学校ＰＴＡ副会長）からはコミュニティースクールの取組について、福田範史氏（鳥取県教育委員会小中学校課課長補佐）からは県教委の取組について、大呂延幸氏（鳥取県ＰＴＡ協議会ブロック理事）からは中ブロとっとり大会を踏まえ県Ｐの取組についてそれぞれ報告がありました。

その後意見交換が行われ、「地域に生きる」「心のふるさとを育てる」という観点でディスカッションが行われました。その中で地域とのつながりによって何が変わるのかが議論され、そのメリットとして①地域から協力が得られる②地域に関心を持つ子どもが増える③地域と学校との信頼関係が生まれる④子どもの保護者も地域の一員であることを感じる⑤子どものコミュニケーション能力が高まる⑥子どもが成長したときにその経験を次へつなげるなどが挙げられました。また、保護者同士のつながり、保護者と地域とのつながりも大切で、その姿を子ども達は見ているとの意見も出ました。

今の子ども達は、私達親世代が子どもの頃に経験してきたものとは大きく違う、親の経験値では計れない世の中の流れの中にいます。そのような時代を子ども達が生きていくために必要なことは、地域や人とのつながりだといわれます。そのつながりがお互いの自己肯定感を育み高め、自分に自信や自尊感情や安心感を持て（「心のふるさと」が豊かになる）、それによりたとえ大きな試練にぶつかった時でも心が折れずまた立ち上がっていくことが出来る。イジメをはじめとする様々な問題解決にも大きな役割を果たすといわれます。

パネルディスカッション全景

子ども達に自尊心が芽生え、それが「心のふるさと」となって自分自身を大切にする、また自分の周りの人や地域まで大切に出来る、そんな人間への成長を願い、私たちＰＴＡも活動を前進させていきましょう。

会長日Ｐ日記

日本 PTA 全国協議会の会議に鳥取県 PTA 協議会会長として参加しています。会議では数多くの議題が取り上げられ重要な案件も決定されます（nippon-pta.or.jp）。日帰りで会議に参加することもありますが、会議の後のノミニケーションにも積極的に参加しています。同じような役歴で協議会会長になられた方たちばかりですので、地域は違っても抱えている問題意識や悩みなどに共有できるものが多いことに驚きます。（写真は中ブロ出雲大会のレセプションのアトラクションで役員一同でどじょうすくいをさせて頂きました）

優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰

平成 27 年
11 月 19 日（木）
会場
ホテルニューオータニ

米子市立就将小学校保護者と先生の会・琴浦町立赤碕小学校ＰＴＡ

優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰
日本ＰＴＡ会長表彰受賞の
喜びの言葉

就将小学校保護者と先生の会
会長　**永井　恵子**氏

表彰式にて「就将小学校保護者と先生の会」と呼ばれた時には本当に誇らしく感じました。今回の受賞は今まで、そして今、PTA 活動を支えてくださっている保護者の皆様の力によるものです。この喜びを胸に、これからも力を合わせ活動をしていきたいと思います。ありがとうございました。

日本ＰＴＡ会長表彰
受賞の喜びの言葉

個人表彰　**部谷　一信**氏

皆様のご推薦をいただき、日本ＰＴＡ会長表彰を賜りました。全国から多くの団体、個人が授与式に参加され、ＰＴＡという組織の大きさと重要性を改めて認識させていただく貴重な経験でした。短い期間でしたが、その活動のお手伝いができたことをうれしく思うとともに、今後も活発に活動されることを期待しています。この度は、ありがとうございました。

日本ＰＴＡ会長表彰	
団体	米子市立就将小学校保護者と先生の会
	北栄町立大栄中学校ＰＴＡ
個人	部　谷　一　信（ぶたに かずのぶ）
	倉　本　政　寛（くらもと まさひろ）
	米　原　隆　生（よねはら たかお）
	荒　瀧　美由紀（あらたき みゆき）

県PTA広報 とっとり
平成28年3月1日
74 号

CONTENTS

このロゴマークは八橋小 PTA の中本優紀さんのデザインによるものです

【P1】
・鳥取県ＰＴＡ研究大会報告
・日Ｐ表彰関係報告
・会長日Ｐ日記
【P2】
・教育予算に関する要望
・日韓交流事業報告
・ＰＴＡの手引き
【P3】
・中国ブロック研究大会報告
・中国ブロック大会 とっとり大会PR
【P4】
・ＰＴＡ活動の様子
・楽しい子育て全国キャンペーン表彰
・終わりに

編集・発行
鳥取県 PTA 協議会

事務局
〒680-0846　鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL:0857-21-2285
FAX:0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
http://www.tottori-pta.net/

平成 28 年度 鳥取県教育予算等に関する要望書を提出しました

平成 27 年 12 月 15 日（火）当協議会は「平成 28 年度鳥取県教育予算等に関する要望」を鳥取県・県教育委員会にて行いました。当日はご公務でお忙しい中、林昭男福知事・山本仁志教育長に時間を割いて頂き、要望の内容につき意見を交わしました。多様な専門スタッフの配置した学校の体制作り、いじめ・不登校などの早期発見・早期対応できる体制作り、児童生徒の心に寄り添う相談体制の充実など、文部科学省が推進する『チームとしての学校の在り方』を先行する形での、鳥取県独自の取り組みをお願いしました。更に熱中症対策についても県から各市町村への指導をお願いしました。当日は終始和やかな中にも真剣に意見を交わすことが出来、当協議会が取り組む『メディア 21:00』運動にも深いご理解を頂きました。今後も県・県教育委員会と一層の連携を図り鳥取県の教育の充実・進展と、子どもたちの健全な育成のために共に歩んで行くことを確認しました。

山本教育長（左）に要望書を手渡す山代会長

要望項目

1. 多様な専門スタッフを配置した学校の体制づくりについて
2. いじめ、不登校などの早期発見、早期対応できる体制づくりについて
3. 児童生徒の心に寄りそう相談体制の充実について
4. 熱中症対策（エアコン設置）について

を要望します。

林副知事（左）に要望書を手渡す山代会長

各小中学校の役員の皆さん「ＰＴＡの手引き」の作成を始めました！！

今年度から鳥取県 PTA 協議会総務委員会（中部ブロック）では、「PTA の手引き」の制作をはじめました。

日々 PTA 活動をしていく中で、いろいろな問題や課題に直面する場面があります。

対応が難しい事や、話し合いする中でなかなか解決が難しい事もたくさんあります。

そこで、私たち総務委員会では少しでも何かの参考や問題解決のヒントになるものを作成出来ないだろうかという事で、「PTA の手引き」を作成する事になりました。

幸いにも、県Ｐの委員には PTA 役員経験者が沢山います。そして、県内のいろいろな場所から集まっています。

これまで各委員さんが経験してきた様々な事を踏まえ、成功談、失敗談を織り交ぜながら、PTA 目線での手引きになればと思っています。

皆さんの PTA 活動に少しでもお役にたてる手引きになればうれしいです。何回も役員で集まり議論して来年度の完成を目指して進めていますので楽しみに待っていてください。

ＰＴＡ日韓交流事業報告

平成27年 10月13日（火）～ 10月16日（金）

韓国では「教育･学芸に関する事務（私立学校を含む）」を管掌するため「教育監」「教育委員会」が設置されており、「教育監」は首長とは別に設置された執行機関で各条例等の議案提出権、予算の編成・執行権など首長と同様の広範な権限が与えられており、首長から独立して事務を執行している。

「教育監」は、教育自治を確保するため 2006 年より公選制が導入されている。公約に基づく道民の意思を実現するために様々な課題に取り組んでおり、今回の訪問先においても参考となる取組が行われていた。

過疎化に悩む初等学校の再生（23 名の児童数が 130 名に）、ネット先進国での（中学校の）ネット依存・中毒への対応、厳しい学歴社会の中での高校の在り方について情報交換を行った。

平成 27 年度ＰＴＡ日韓交流事業

1　趣　旨

環日本海諸国（韓国）のＰＴＡ関係者との交流の促進を図ることにより、相互理解と友好を深め、子ども達の健全育成に向けた活動をより一層発展させる。

2　期　間

平成 27 年 10 月 13 日（火）～ 16 日（金）

3　訪問団

鳥取県ＰＴＡ協議会　　3 名
鳥取県高等学校ＰＴＡ連合会　3 名
鳥取県教育委員会（通訳含む）3 名

4　概　要

10 月 14 日
- 江原道教育長訪問
  江原道教育施策説明
- 春川（チュンチョン）デリョン中学校
  施設見学、意見交換、給食試食
- 横城（フェンソン）ヒョンチョン高等学校
  施設見学、意見交換
  （学校、保護者、学校運営委員会）

10 月 15 日
- 江陵（カンヌン）ソンヤン初等学校
  学校紹介、施設見学、意見交換、

※詳しくは、当協議会ホームページに今回訪韓した 3 名の報告書を掲載していますのでご覧ください。

鳥取県ＰＴＡ協議会　検索

大龍（テリョン）中学生が歓迎の演奏

訪問団

第45回 日本ＰＴＡ 中国ブロック研究大会「島根県出雲大会」

育まこい！家庭・学校・地域の縁

11月8日（日）神話の国そして神々が集う島根県出雲市大社町において「育まこい！家庭・学校・地域の縁」を大会スローガンに、第45回日本ＰＴＡ中国ブロック研究大会「島根県出雲大会」が開催されました。中国5県1政令市より約2,000名の会員が島根県立浜山体育館カミアリーナへと集まり「地域の絆を未来のために」をテーマに出雲一中より、家庭、学校、地域が連携した活動ができるよう、地域学校運営ブロック協議会を立ち上げて、子育ての課題の一つである子どもメディアについて地域全体で考え、情報交換や勉強会などの活動の実践発表から始まり、ＰＴＡ活動の活性化を目的とした島根県ＰＴＡ支援事業を受けられた津田小より「ＰＴＡ活動に今必要なこと」について保護者同士、教職員、地域が連携して「学校へ行こう！～愛する子どもたちのために」のテーマでの活動、浜田東中より「地域に支えられた小・中の絆づくり活動」をテーマでの活動など活発な実践発表を聞き、家庭・学校・地域の連携の大切さ、ＰＴＡに与えられた使命感が強く伝わりました。

奥村幸治氏

そして来年の開催地のＰＲタイムでは私たち鳥取県ＰＴＡ協議会の役員、中国ブロック研究大会実行委員会のメンバーより次年度開催ＰＲ（別記事での特集有り）で1人でも多くの方に来て頂きたい想いで、しゃんしゃん祭りでお馴染みの傘踊りをさせて頂いたところ、降りしきる雨がより大雨となり踊りのパワーがそちらに行ったか？？っという事も今では笑い話です。

また午後よりＮＰＯ法人ベースボールスピリッツ理事長の奥村幸治氏より「子どもの能力を伸ばす体づくり」を演題に、メジャーで活躍中のイチロー選手や田中将大選手との出会いや、関わりや感じたことなどの話をおりまぜながら、スポーツを通じてのメンタル面や継続の大切さをお話し頂きました。今回の大会を通じて何かを感じ取り、各家庭・地域に持ち帰って頂き、何かのアクションを起こすきっかけとなっていただきたいと思います。

今年は6年に一度のとっとり大会を皆さんで盛り上げましょう。

第 45 回 日本 PTA 中国ブロック研究大会島根県出雲大会に参加して

「育まこい！家庭・学校・地域の縁」の大会スローガンで開催された出雲大会。PTA の大会で、いつも感じることは同じ志しを持つ仲間との「共感」です。また、出雲ならではの子ども達のアトラクションに大きな声援と拍手をおくり、同じ子をもつ親同士の一体感も生まれた感じがしました。実践発表では、共に学び、基調講演では、共に頷く、「縁」という言葉の通り、見知らぬ人とも同じ空間を共有し共感でき「縁を結ぶ」出雲大会に参加して、あらためて仲間・地域・学校そして子ども達の未来のために携わってくださる全ての皆様に感謝をして、より一層 PTA 活動を楽しく実践していきたいと思いました。

平成 28 年 11 月 12 日開催の

第46回 日本ＰＴＡ中国ブロック研究大会 とっとり大会

日本ＰＴＡ中国ブロック研究大会出雲大会にて、私たち「とっとり大会ＰＲ隊」が次期開催地のアピールをしました。鳥取市の夏の風物詩「しゃんしゃん傘踊り」で出雲大会に華を添えることができました。東部メンバーはほとんどが傘踊り未経験者でしたが、事前の猛特訓を経て現地入り。会場で中部、西部の皆さんと合流し総勢40名とトリピーも応援に駆けつけてくれました。来場の中国5県1市の2000人ＰＴＡの仲間に、キラキラ光る傘とシャンシャンの鈴の音で「とっとり大会」を印象づけることができました。簡単なリハーサルだけで本番をこなしてしまう鳥取県ＰＴＡの、東中西の地区を超えたつながりの強さを改めて感じました。ご協力いただきありがとうございました。

さて、その「とっとり大会」は今年11月12日に開催です。出雲大会でも、事前の準備や当日の案内など、大会を成功させるために多くのＰＴＡ会員の方が関わっていらっしゃいます。その姿を見て、大会をしっかりと運営されていることに感心するとともに、「次は自分たちの番だ」と、気持ちが引き締まる思いがしました。これまでのすばらしい大会に負けないよう、鳥取らしさを全面に出し、それぞれのＰＴＡの活動に役立てていただけるような大会にしたいと思います。

大会実行委員会の活動も、本格的になってきました。大会概要、ロゴマークなど着々と決定しています。まだまだ準備することが山のようにあります。実行委員会を中心に、各ＰＴＡのみなさんと一緒に準備を進めていきます。その中での多くの出会いが新しい「つながり」となり、様々な場面でたくさんの学びを得ながら、大会当日を迎えられればいいなあ、と思います。多くの方のご協力が必要です。よろしくお願いします。

私たちの町のPTA活動の様子

米子市小中ＰＴＡ連合会

◆教育フォーラム

12 月 19 日（土）全日空ホテル米子において米子市小中ＰＴＡ連合会主催の教育フォーラム開催致しました。武田邦彦中部大学総合工学研究所特任教授をお招きして「子どもの時代の日本はどうなるか」の演題で講演頂きました。米子市内の 90 名の保護者、教職員、地域の方々にご参加頂き、エネルギー資源学者として「事実だけを言う」スタンスで「石油は最低 1 万年無くならない」「地球温暖化は嘘」などメディア等でお馴染みの切れ味抜群の講演でした。

米子市小中ＰＴＡ連合会　検索

境 第 一 中 学 校

◆校舎ピカピカ大作戦

今回は 2 年生の企画という事で 2 年生の有志、保護者、職員が参加し、階段踊り場や玄関・柱等のペンキ塗りや廊下の汚れ落とし、トイレの磨きあげを行いました。

子どもたちが大人以上の働きをしてくれた事や作業の後片付けを全員で積極的にテキパキと行動してくれた事はとても頼もしくうれしい場面でした。

生徒と共に汗を流し楽しい半日を過ごすことが出来ました。…

倉吉市小Ｐ連、倉吉市中Ｐ連・養護Ｐ連、倉吉市教委

◆平成 27 年度倉吉市教育講演会

倉吉市教育講演会が、10 月 9 日に倉吉交流プラザ視聴覚ホールに於いて開催致しました。

今まではそれぞれ単独での開催でしたが、倉吉市小Ｐ連、倉吉市中Ｐ連・養護Ｐ連、倉吉市教委と共同での開催を本年度は初の形で開催致しました。

講師には鳥取短期大学付属幼稚園・保育園園長横濵純一氏を迎え、「子どもたちの未来のために大切なこと」をテーマに、ご講演頂き約 150 名が学びました。

今後ますます環境が変化し危険が増す社会へ歩みだしていく子どもたちへ、これらのことをしっかりと伝えていくことが私たちの使命であると締めくくられ、講演会は終了しました。

岩美町小中学校ＰＴＡ連合会

岩美町小中学校ＰＴＡ連合会は、３小学校・１中学校の計４校で組織する小規模な連合会ですが、町内の小中学校の教育振興に寄与することを目的として各活動を行っています。

年間の主な活動内容としては、役員会を 5 回程度開催し、親睦スポーツ大会（９人制バレー大会）・会員研修会（教育講演会）・母親委員会による親子クッキング等を実施しています。

今年度の会員研修会（1/16 開催）では、前鳥取県ＰＴＡ協議会長の井上洋子氏を講師に迎え「10 秒の愛」をとおした子育てについて講演いただきました。

鳥取市小学校ＰＴＡ連合会

今年度は、今の時代に合った「みんなでつくる鳥取市小Ｐ連」を目指して、運営を試みました。前向きなアイディアを反映し、バレーボール大会での小規模校の紹介コーナー設置や卓球大会では交流サロンを設ける予定です。

東伯郡小学校 PTA 連合会

当連合会は、自主事業として『スポーツ交流会』と『運営研究会』を毎年開催しています。

スポーツ交流会は平成 27 年 11 月 7 日（日）に琴浦町において、ミニ運動会形式（三種目）を 450 名の参加により開催致して大変盛り上がました。

また平成 27 年 12 月 12 日（土）に、湯梨浜町において鳥取県中部子ども支援センターの松島綽子さんを講師に迎え「小学生の心の育ちと親子のコミュニケーション」について講演と 4 分科会（広報部会・生活安全部会・会員研修部会・人権教育部会）を 125 名の参加により開催致しました。各分科会で活発な意見交換が行われました。

八頭郡中学校ＰＴＡ連合会

八頭郡中学校ＰＴＡ連合会では、会員相互の親睦と日頃の運動不足解消を目的に、恒例となった親善ソフトバレーボール大会を平成 27 年 10 月 11 日(日)船岡トレーニングセンターにおいて開催しました。

大会には八頭郡内 3 校から 6 チーム参加していただき、珍プレー好プレーを交えながらの熱戦を繰り広げ、爽やかな汗を流しました。

大会のあとは会員の親睦を図るため、船岡の老舗料亭「東屋」で懇親会を行い、最後まで和気あいあいと楽しい一日を過ごしました。

八頭郡小学校ＰＴＡ連合会

平成 27 年 10 月 29 日会員研修会を開催致しました。70 名の参加者の中、鳥取県教育委員会事務局小中学校課　学校・家庭・地域連携担当課長補佐福田範史氏をお招きして講演を行いました。

講演ではゲームをすることのメリット・デメリット、子どもとゲームの関係に保護者としてどう向き合ったらいいのか？という事を大変わかりやすく話して頂きました。その後グループ討議ではゲームをする時のルールのことなどの話で盛り上がりました。

鳥取市中学校ＰＴＡ連合会

鳥取市中学校 PTA 連合会 PTA 活動の中でこれはいいなと思っているのは、毎年夏に行われる学校対抗ソフトバレー大会です。スポーツでの交流ですから他校の方々ともすぐに打ち解け合い、学校行事の話しから子どもの共通の話題まで話せます。意味ある連合会行事となっております。

終わりに

一年間73号、74号とご愛読頂き誠にありがとうございました。

鳥取県ＰＴＡ協議会の活動を会員の皆様に知って頂きたく、西部ブロック役員が「読んで頂ける広報紙」となるよう工夫をしてきました。

会員の皆様には少し遠い存在の協議会かとは思いますが、74号では身近な活動の紹介も取り入れ、興味を持っていただける内容としました。

本会は単年度毎に役員選出を行いますので、半数以上の役員が入れ替わります。

何かの縁やつながりで声がかかりましたら、大変とは思いますがお受け頂き、子どもたちの課題とその解決に向けて仲間とともに取り組んで行きましょう。

活動を通して私自身も県内の多くの方々との出会い、情報交換や意見交換出来たこと、つながりが出来たことは大きな宝物となりました。

一年間ありがとうございました。

鳥取県ＰＴＡ協議会
西部ブロック代表理事（広報委員長）
山本　光陽

「楽しい子育て全国キャンペーン」

～家庭で話そう！我が家のルール・家庭のきずな・命の大切さ～三行詩

平成 27 年度厚生労働大臣賞

日南町立日南小学校　2年生　**増浦美来依**(ますうらみらい)さん

「うん　うん　うん。」
「それで？　それで？」ときかれると、
どんどんお話ししたくなる。

鳥取県 PTA 協議会　小・中学生総合保障制度（こども総合保険）

2016年１月現在の内容です

★お子さまがケガ!?
ケガは 24 時間補償
(熱中症・細菌性食中毒も補償)

団体契約なので掛金が
約 35%割安!!

★お子さまが加害者に!?
個人賠償責任補償

★学校へ携行する持ち物への備え
学校管理下動産補償（身の回り品補償）

【引受保険会社】AIU 損害保険㈱松江支店　松江市伊勢宮町 519-1 大同生命ビル 3F
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776（受付時間:午前 9:00～午後 5:00 土･日･祝日･年末年始を除く）
※当制度の詳細に関しましては、配布されたパンフレットをご覧ください。　A-000620　2017-02

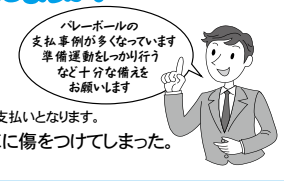
平成 28 年度 PTA 活動中の団体保険（PTA 団体傷害保険・PTA 賠償責任保険）

PTA が主催する行事中に参加中のケガ・賠償事故を補償します。

実際にどんな支払事例があるのでしょうか？

☆PTA団体傷害保険
所属するPTAの行事であるバレーボール大会中、足を捻挫してしまった。
所属するPTAの行事である奉仕作業中、蜂に刺された。

☆PTA賠償責任保険　※PTA活動の遂行に伴い法律上の賠償責任が発生する場合に支払いとなります。
所属するPTAの行事である除草作業中、飛び石により駐車場に停車中の車に傷をつけてしまった。
所属するPTA行事中、誤ってガラスを割ってしまった。



●取扱代理店
株式会社ライフアシスト
〒680-0873 鳥取市的場２丁目 81
TEL 0857-51-7233 FAX 0857-51-7234
＜受付時間＞ 平日：午前9時から午後5時まで

引受保険会社　損害保険ジャパン日本興亜株式会社
〒680-0822 鳥取市今町 2-112 アクティ日ノ丸総本社ビル2階
TEL 0857-23-3301 ＜受付時間＞平日：午前9時から午後5時まで

【事故サポートデスク】
0120－727－110
【受付時間】24時間365日

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が 2014 年 9 月 1 日に合併して誕生した会社です。　SJNK15-16480 (20106/02/10)